

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームほほえみ

作成日 平成 28年 8月 15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	利用者が使用している薬についての理解が不十分。	使用されている薬について理解し、症状や様子の把握に努める事が出来る。	使用薬剤についての情報を知る。	2か月
2	42	口腔ケアの重要性についての理解が不十分。	利用者それぞれの口腔ケアについて正しく理解し、嚥下状態の悪い利用者に関しては、その日の状態に合わせた口腔ケアの方法を実践する。	勉強会の開催。 項目ごとにチェックできる口腔ケアチェック表を話し合い作成する。	1か月
3	25	日々変化する利用者の状態にすぐわない介助が行われている事がある。	利用者の今のADLの状態を全職員が共有し、現状に合った介助を行う。	全職員が定期的に集まり、積極的に意見交換することで、個人に則したケアの方向性を見出す。	6カ月
4	1	大切な言葉として意識づけを行っているが、現状に合った具体的な目標が掲げられていない。	ユニットごとに、具体的な目標を立て、目標の実現に向けた統一したケアの方向性を目指す。	全職員で話し合い、具体的な目標を掲げる。 日々職員が目につく場所に掲示する。	1か月
5	35	避難訓練の様子・利用者の現状が家族へ伝わっていない。	家族参加の避難訓練を実施。家族からの意見を頂く機会を設ける。	避難訓練の後に家族会を開催する。利用者と一緒にお茶をお茶を飲みながらアンケートに意見を書いて頂けるよう準備する。	次回訓練時 (2月予定)
6	35	第三者から見ると、居室のドアが全て同じで、どの部屋にどのような利用者いるのか？わかりづらい。	災害時に利用者の様子を視覚で把握できる。	各居室のドアに移動方法等が描かれたプレートを掲示する。	1週間
7	23	本人の発言、行動、気付きの明文化がなされていない。 (ヒヤリハット含む)	職員がそれぞれの目線で気付いたことを全職員が共有できるようになる。	気付きノートを作成。 その場で書くことを習慣付ける。	1年

8	36	入職時に接遇マナー研修を実施しているが、長く入職者がないと実施する機会が作られていない。	定期的に振り返る機会を作ることで自分自身のレベルアップに繋げる。	年間計画に盛り込み、自分自身を振り返る機会を作る。	1か月
9	27	連絡ノートはあるが内容の周知が図られていない。	内容の周知・徹底を行い、日々のケアの実践へ反映させる。	連絡ノートを見て、支援内容を把握することを習慣付ける。	1か月
10	27	個別支援記録の記入内容が曖昧で、他者からみると分かりにくい。	内容が充実している個別支援記録を作成する。	記入方法についての検討を行う。	1か月
11	54	すべての利用者のその人らしい居室作りがされているとはいえない。	利用者にとって快適な、又、職員が介助に入りやすい居室作りを行う。	担当した職員が責任をもって環境整備に努める。	2か月
12	38	業務的な流れの中で利用者の表情や気持ちを汲み取る機会が少ない。	利用者本位の生活と時間のペースの把握。細かな表情の観察。パーソンセンターケアの実践による情報収集。	ホール内では、利用者と同じテーブルに座り、受容の姿勢で気持ちを引き出す機会を作る。	6カ月
13	13	職員一人ひとりのケアの力量に違いがある。	利用者に対して統一した介護サービスの提供を行う。	定期的なミーティングにおいて意見を出し合い方向性を確認する。 研修への参加。 定期的に勉強会を開催する。	1年
14	40	利用者の好みを勘案した献立であるが、変化に欠ける。	季節感、食材、演出を工夫し、利用者と職員が楽しんで食卓を囲む機会を増やす。	旬の食材・行事食・食器や盛り付けの工夫。 「食事を楽しむイベント」の企画。	12か月
15	8	権利擁護についての知識不足。	様々な権利擁護の制度について知識向上させる。	勉強会を開催する。	3か月
16					
17					